

新医学系指针对应「情報公開文書」フォーム

単施設研究用

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

以下、本文.....

コロナ禍におけるビデオ遠隔シミュレーション教育の満足度調査

1. 研究の対象

第 26 回日本小児麻酔学会のシミュレーション教育ワークショップに参加する麻酔科後期研修医

2. 研究目的・方法・研究期間

コロナ禍において感染拡大のリスクから高忠実度シミュレーターを用いたシミュレーション教育は控える傾向があります。本年度の日本小児麻酔学会でも手術室を模倣した危機的状況下におけるシミュレーションセッションはコロナ禍による感染拡大のリスクから実施が見送られました。そこで私たちは、当センターで作成した手術室での蘇生を模倣したシミュレーション教育ビデオを作成し、それを用いたディスカッション形式の勉強会を Web カンファレンス形式で行う企画を立てました(第 26 回小児麻酔学会ワークショップ企画)。遠隔シミュレーション教育の効果は過去の研究で示されていますが、失敗例と改善例のビデオを用いたディスカッション形式のシミュレーション教育は前例がなく、その効果は不明です。そこで初発の研究として、今回は参加者の満足度の調査を行い、より質の高いシミュレーション教育の提供につなげたいと思います。

・研究期間 倫理委員会承認日から 1 年

・方法

本年度の第 26 回日本小児麻酔学会のシミュレーションワークショップ(10 月 16 日)において行われる 50 分×2 回(心停止シナリオ、困難気道シナリオ)のシミュレーション教育を Web カンファレンス形式で提供し、その直後に参加者(麻酔科後期研修医)に対して 5 分程度のアンケート調査を実施します。ワークショップの各セッションの進め方は、下記のように行います。当センターにてあらかじめ作成した、手術室で行う小児の急変を想定したシナリオを元に高忠実度シミュレーターを用いてデモビデオ(良い例と悪い例)を作成・編集する。セッション内で参加者はまず悪い例のデモビデオを供覧し、問題点を抽出、ディスカッションします。次に良い例のデモビデオを見て改善点についてさらにディスカッション形式で学習します。終了後、Google フォームを用いて、参加者にアンケートを送付し、満足度の調査を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、卒後年数、シミュレーショントレーニングの慣れの有無
シミュレーション教育への満足度(項目別アンケート)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代
理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申
出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 麻酔科 担当者名 小嶋 大樹

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究責任者：あいち小児保健医療総合センター麻酔科 小嶋 大樹

公開日 2021年9月11日

-----以上